

公表

事業所における自己評価総括表 放課後ディサービス

○事業所名	こども通所サービス はいびすかす		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 12 月 1 日		～ 令和 7 年 1 月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和 6 年 12 月 1日		～ 令和 7 年 1 月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに必要な支援(療育)を提供することができる。	不登校へのお子さんの支援や学習支援、SSTなど必要な支援をその子に応じて提供している。	学習面での特性を生かした支援を行うことでより学習への意欲が出るように促していく。
2	職員間でのミーティングを常に行っているため、情報の共有等がしっかりできているので、統一した支援をすることができる。	一日の子ども達の様子を密に話し合っている。子供たちの変化を見逃さないようにいつもと違う点はすぐに共有する。	子ども達のカンファレンスの回数を増やしていく。障がいへの知識やかかわり方の研修をもっと多くしていくことで子ども達へより良い対応をすることができる。
3	学校や協力機関、保護者との連携をする機会をたくさん持つことでどの場面でも共通の支援をすることができる。	担会や相談支援との話し合いに積極的に参加して、学校や家庭での困り感などをしっかり共有している。	担会等の会議の場を増やしてもらい、積極的に参加していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動などをする際に療育スペースの確保が難しい。	施設があまり広くないことや区切ったりする環境が整えられていない。	引き続き、公園でたくさん体を動かす時間を作っていく。また体育館を借りたりしながら、運動できる時間を確保して、体を動かす時間を増やしていく。
2	保護者同士で交流する機会が少ない。	保護者会や講習会などの企画をしていない。	今後、保護者会や研修会等に向けて、企画をし、保護者同士の交流の場を増やしていく。
3	情報の周知の工夫ができていない(マニキュアルや安全対策)	SNSやHPの活用がしっかりできていない。	SNSをもっと活用して、保護者へしっかり周知していく必要がある。